

Q/A		
#	質問	回答
1	<p>RE100は排出権取引は認めていませんが、SCOPE 1, 2では非化石証書は認めています。</p> <p>しかし非化石証書は同時同量を考慮しておらず、日中にPVで夜間使用分も含めて多く発電すればRE100を達成したことになってしまいますが、夜間使用分の電力はどこかで化石燃料を使って発電しているかも知れません。これで無炭素を達成したことになるのでしょうか？</p> <p>そもそもVRE100%の電力は電圧も周波数も変動してしまい（揚水や蓄電などの火力に代わる調整力が確保されない限り）使えないのではありませんか？</p> <p>また、CDPは排出権取引は認めていませんがNECはGXリーグに参加する予定ではありませんか？</p>	ライブ中継で回答済み
2	「見える化WG」につきまして、ITエレキ分野では、アジア（中国・東南アジア）のサプライヤーのデータが必要になってくると思いますが、この地域へのアプローチは何か考えられていますでしょうか？	はい、アジアは強く意識しています。ルールメイキングはEUとの連携、インプリはアジアを意識しています。
3	プラスチックや自動車市場において、デジタル製品パスポートのビジネス実績はありますか？もしそうなら、具体例を教えてください。	<p>「デジタル製品パスポート」はコンセプトとして導入されたばかりで、数年後には法的に製品カテゴリーが一つずつ確立される予定です。</p> <p>バッテリー（2KWh以上）、繊維、プラスチックが最初の製品カテゴリーとなる可能性が高く、特定の製品カテゴリーのステークホルダー（例：Global Battery Alliance）は、すでにバッテリー製品パスポートのプロトタイプに合意しています。</p> <p>自動車業界でもサプライチェーンに沿って達成されるデータの標準化が多いため、関心を示しています。</p>
4	製品のデジタルツインを利用して、製品をサービス化する（そうすることで、材料費や材料使用量を削減する）例を教えてください。	ICT業界の例が比較的分かり易いかと思います。データセンターにサーバをリースし、（データセンターが耐用年数が過ぎた初期サーバを廃棄するのではなく、）サーバメーカーにサーバを2-3回改修してもらえば、改修後のサーバの利益率の方が新規サーバよりも高くなるという循環型のビジネスモデルを実現しています。
5	<p>Climate Action（気候変動対策）やSocial Responsibility（社会的責任）としてデータをサプライチェーンを通じて入手する場合、欧州では、どのような方法を使って、信頼性の担保を考えられているのでしょうか？</p> <p>日本では、内閣官房デジタル市場競争本部（Headquarters for Digital Market Competition）においてTrusted Webにてデジタル社会における様々な社会活動に対応するTrustの仕組みをつくり、多様な主体による新しい価値の創出を実現しようとしています。日本でのこの取り組みと欧州との信頼性の担保を繋いでいくようなことが可能でしょうか？</p>	

6 サプライヤーを含めたGHG関連データ可視化の中で、比較的取得しやすい電力データ以外に、熱 (heat)の把握、標準化も検討scopeに含まれているのでしょうか。	ライブ中継で回答済み
--	------------